



2019年5月30日 第2374回例会
5月第4例会

RIテーマ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE
「インスピレーションになろう」

本年度会長テーマ
「奉仕の理想に向かって、楽しむロータリーに」

「青少年奉仕月間」

◆会長時間◆

森脇会長



アメリカのトランプ大統領の国賓として来日のニュースが報道されました。大統領も日本の文化について言及し、令和の元号を称え、御代代わりに祝意を表しました。改めて日本の良さを認識された方も多いと思います。大統領訪日の最中、児童など19人が殺傷する痛ましい事件が川崎市で起きました。

先週の例会では広島市の大庭さんより子供の見守り対策について、広島市の取り組みについて卓話していただきました。

広島市では、7年前の安芸区矢野での下校時的小学生殺害の事件がきっかけとなって子供見守りの日ができることを話されました。

犠牲になられた方に哀悼の意を表し、被害にあわれた方に御見舞い申し上げます。

世界一安全な国、日本といわれていますが、犯罪が起こらないということはありません。世界から見ると安全な国なのです。

子供の見守りは児童・生徒の登下校を中心に全国で行われています。

我がロータリーは、見守りジャンパーの贈呈を長年続けています。地域のボランティアの手助けになればとの思いで行っています。ロータリアン一人一人が、企業、地域の方々と協力して、地域を犯罪のない明るい社会にしていただきたいと思います。

●会務報告

小橋幹事

※ ロータリーレートが6月から1ドル110円（現行112円）に変更になります。

※ 他クラブ例会臨時変更

6月17日(月) 広島中央RC・広島廿日市RC
夜間例会に変更

6月18日(火) 広島西南RC 夜間例会に変更

6月24日(月) 広島東南RC 夜間例会、
広島廿日市RC 休会に変更

6月25日(火) 広島西南RC・広島安芸RC
休会に変更

6月26日(水) 広島陵北RC 夜間例会に変更

6月27日(木) 広島北RC・広島安佐RC
夜間例会に変更

6月28日(金) 広島城南RC 夜間例会に変更

●委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 隅田委員長

本日(5月30日・木曜日)

会員数 84名 出席者 76名

欠席者 8名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 1名

計 77名

前々回(5月16日・木曜日)

出席率 100%



※ 次年度加藤幹事

例会終了後、4階「カメリア」において次年度クラブ協議会を開催いたしますので、次年度理事役員及び各委員長は出席願います。

● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

原 君	(4名)
村上(智)君	せいか夫人
吉田(大)君	緑夫人
宍戸君	美智子夫人
	亜矢子夫人

● 4月決算月おめでとうございます。

(3名)

荒谷君	荒谷建設コンサルタント株
田中君	田中化工機工業株
山木君	株LAT環境クリエイト



● スマイルボックス S A A 松岡(輝)委員長

○ 紫友会

5月18日～19日総勢25名の参加で、熊本・阿蘇方面へ毎年恒例の遠征旅行

【例会結果】

優勝 上野(彰)君 (ダブル)、2位 上田君 (トリプル)、3位 西原君、BB賞 柴田君

○ 原 君 (自主申告・ダブル)

紫友会遠征旅行懇親会にて、じゃんけん大会で勝ち進み商品券をいただきました。私の手元には納まりませんでしたが、スマイルさせていただきます。

● スマンボックス

○ 村上(健)君

私、村上健一は、ことあろうに紫友会世話人であるにもかかわらず新幹線出発の5分前まで、自宅で爆睡しておりました。

ゴルフ場でのプレーにはタクシーを飛ばして間に合いましたが、皆様にご迷惑をお掛けしましたことお許しください。

● 卓話予告

日 時	テ　一　マ
6/13(木)	委員長退任挨拶

■ 卓　話



先人から学ぶ人を活かす組織とは

江川 雅典君

孫子の兵法より～「将とは、智・信・仁・勇・厳なり」

孫子の兵法では現場の事業責任者すなわち、リーダーが備える5つ要件をもっと具体的に示しております。

まず最初に掲げている智とは、知恵があることであり、聰いこと、さらにははかりごとという意味もあるそうです。つまり、智を備えた将は、競争を生き抜くため巧みな戦略を自分の頭で組み立てられるし、社員たちの心や行動についても聰く考えられるということに繋がります。次に信とは、まこと、です。他人や天に対する誠実さを唱えており、そのまことがあるが故、他人から信頼されることになるのでしょうか。仁とは、いくつしむこと、恵むことです。転じて、他人を思いやること、あわれむこともあります。勇とは、いさましいことであり、さらには強いこと、猛々しいという意味も含まれ、果敢な決断を下すに必要です。最後の厳とは、おごそかということであり、他方、厳しいという意味もあります。将は、威光のある存在であるとともに、規律などに際しては己自身にも厳しくなれければならないと、考えられます。

論理は智によって支えられています。智の無い人に、自分の論理を構築することはできません。競争を進める事業で、将は孤独です。最後は自分が決断しなくてはなりません。その決断を支えるものは、最終的には自分で納得できる論理であり、

その奥にある自分の智です。次に続く信や仁は、トップマジメントがチームとして機能しやすくするためには人格的器量が必要で、組織全体の力が發揮されるために必要不可欠であることを示しています。勇や厳の恐れより、尊敬されるほうが上位でしょう。

様々な智の集約～業種別審査辞典

業種別審査辞典は、金融機関が様々な業種の企業に対して、どのような視点で企業実態を把握すればよいかを、定型的にまとめ上げたものです。逆に捉えると、私たちの企業は、金融機関からこの様な視点で見られていますよというバイブルにもなります。また、この中には近年の傾向や、動向予測も入っていますので、補助金申請時にも大いに役立ちます。

バーナードに学ぶ、困難に向かうための組織

人々は、一人では解決できない困難にぶつかった際に、他の方の助けを借りて困難を乗り越えようとしています。バーナードは20世紀前半に活躍した実務家で、「近代組織論・管理論の父」と呼ばれています。「人間は自分自身だけでは能力に限界があるため、その限界を克服し目的を達成するのに、他の人々と協働（協力して働く）するのだと考え、組織と個人の統合をテーマに研究していました。

組織が成立する3つの要件

- ① 組織の共通目的～みんながバラバラの目的で集まっているようでは、まとまりは当然ありません。重要なことは、「その目的が、形成される組織全体にとってどのような意味があるかということを、個人がいかに考えるか。」ということです。
- ② メンバーの協働意欲（貢献意欲）～集まつただけで何もやる気がなく、言われたことしかやらない程度の意識では、組織は成立しません。互いに貢献する意欲を有し、やりがいや喜びに繋げていく意識の熟成が大変重要です。
- ③ 共通目的をメンバーに伝えるコミュニケーション～共通目的と貢献意欲は、何かをしなければつながらないものです。組織を構成する人たちの間で、必要な情報伝達が行われないと、組織としての意思決定を行うことが大変困難になってしまいます。組織

メンバー間でコミュニケーションが行われることによって、組織はまとまりが出てきます。

組織が存続する2つの条件

A. 組織と環境との均衡関係（有効性）～組織を取り巻く環境の中で、組織に求めることと組織の目的が一致していないと、存続が厳しくなります。お客様からの要求に応えられないような組織では、お客様から見放される運命になるからです。

B. 組織構成員と組織との均衡関係（能率）～組織がメンバーに対して、やりがいや生きがいに繋がる仕組み（誘因）と、組織メンバーが組織に対して行う寄与（貢献）が一致していないと、やはり存続は難しくなってしまいます。

ナポレオンの敗戦に学ぶ人を育てる指示とは・・・

部下に指示を出す場合、仕事の性質、部下の能力と性質などにより、また要求されている時間的余裕や動ける範囲などにより、号令・命令・訓令の3つを上手く使い分けないと、部下は期待する結果を出してくれないとと言われています。

「号令」とは、部下に仕事の手段や手順・方法だけを示したもので。それに対して「訓令」は、部下に仕事の目的のみを伝え、仕事のやり方は委任することになります。また「命令」は、仕事の目的を示し、納得させ、部下の経験や能力に合わせて、仕事の手順や方法を指示し、仕事を遂行させるために用います。

号令は、仕事のやり方を細かく指示しているわけですから、上司の想い通りの結果を導きやすいのですが、やり方のみの指示なので、状況が変わっても部下は仕事の方法を変えられません。さらに、号令で人を動かすためには、号令に従うことによる安心感や義務感をもってもらうところまで、事前の準備、教育が必要となります。また、号令によって人を動かした場合の結果に対する責任は、全て上司が引き受けなければなりません。（ナポレオンの敗因は、能力が高いため全て一人が号令をかけ、次代を担う人を育てなかっことによるそうです！）

命令は、何のためにそれをするのかという明確な目的をハッキリ伝え、さらにやってもらいたい

内容を示す必要があります。さらに仕事を遂行していく中で、部下に経験を積ませて育成するという大義を忘れてはいけません。当然、やってもらいたい内容の大幅な逸脱は認められませんが、目的を達成するための手順や方法は、多少変化しても構わないという許容レベルの容認が必要です。

広島西ロータリークラブ 「先人から学ぶ人を活かす組織とは」 ～2019年5月30日卓話～

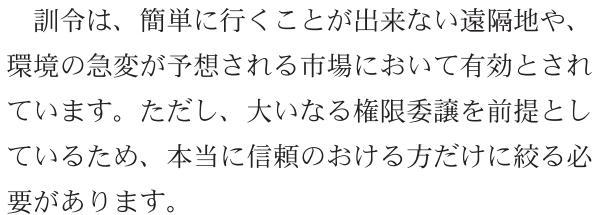
バーナードに学ぶ、困難に向かうための組織

人は誰一人で成し遂げない道程に立ち会った時に、他の人の奮闘を見て自分も奮闘しようとする。監督や仲間もまた元気な方の鼓舞、「日本の矢」をもたらすように、一人一人が自ら奮闘ができないでも、三人の力が合あれば何事も手に取れる。必ず達成する事があるのです。目的を達成することであると、必ず叶います。

20世紀前半に開拓した「新大陸」では、地盤整理工と埋め立て工と並んで、人間は自分自身だけで能力を發揮するものではありません。その資源を貢献し、他の人々が協力して行動するのだとある。組織は、個々の能力を最大限に引き出していく。今の組織はまさに、パートナー組織に特徴づけられた組織を本音語とも言えることが出来ます。

組織に生きる4つの条件

- ① 組織の成長性
- みんながパワフルな目標で集まっているらう。またよりは当然あります。座右にはことは、「自分の目標」。おもれる組織は絶対全員にとってどのような危機があるかと云ふことを、皆人がいかに見てゐるか。」などです。
- ② パートナー組織
- 異常がきたらでも必ずやがて止み、またれることからならない現象の発生では、それは構成しません。互いに影響する要素を抱え、やり取りを常に重ねて置ける組織の點が大変重要な点です。
- ③ 長期的目標
- 組織目標をメンバーに伝えるミニミニケーション。組織目標を理解する事で、組織を運営する人の頭の中で、必要な知識が飛躍的に広がります。結果として、意思疎通がうまくいくと、大変な問題は立ち直りしません。組織目標一貫でミニミニケーションが行われることによって、組織は生きる力ができます。
- ④ 組織の存続性
- 組織は必ず死んでしまう（有り得）。
- 組織は必ず死んでしまうので、組織で営むことの上限の期限の日割りがないといふ、存続が想定しません。私たちは、次に見る「京に立つてられない組織」では、お客様からも感謝される運命にならがらす。
- ⑤ 組織の組織化と組織との連携（組織編成）
- 組織がミニミニにして、やり取りや往来の中に置く組織編成（組織）と、組織内部バーゲン形式に対して、組織外との連携（組織編成）が、組織の成長性を左右する要因となります。



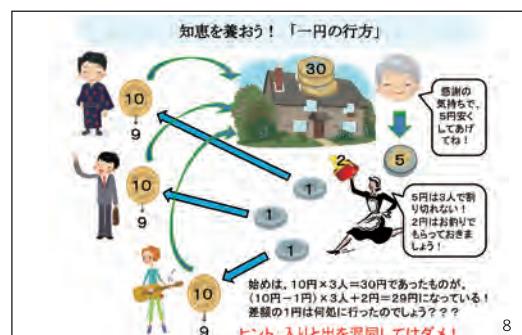
バーナード理論のまとめ

共通目的…組織が持つ達成すべき目的。
組織を構成する個人がその目的を受け入れ、測正配分をかけることで効果的な達成が可能になる。ただし、個人的と組織的目的の統合が課題である。

主に2種類…
1. 両目的達成や、貢献を引き出すために必要な調整機能。
組織における命令を受け入れるかどうかは、個人の意思に依存されることから、問題なく受容できる範囲（無関心圏）の拡大を図るため、互いの調整が必要となる。

協働意志…組織の共通目的を達成するための、個人の意図のこと。貢献意識とともに、目的達成に寄与する個人活動（貢献）、組織の個体を満足させるために提供する効用（奉仕）を、うまくバランスさせることで協働の様態を実現する。

有効性…協働によって組織が外部から期待されている目的を、どれだけ達成できるか表示す度合い。



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森脇 宗彦
幹事 小橋 敏夫

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp